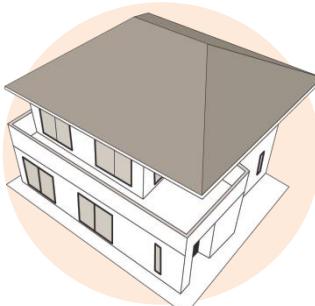


# 「天井にシミ」雨漏りかもしれません！

「雨漏り」というと、天井から水がポタポタ落ちてくるイメージがありますよね。

実際には、天井にシミが広がったり、壁紙が剥がれたり、といった症状が起こります。「水が落ちてこないから大丈夫」と思われますが、屋根裏に水が溜まっていたり、壁に染み込んでいる場合があります。

気になるシミがあったら、当店にご連絡ください。点検にお伺いします！



そのほか、屋根で起こりやすい不具合をご紹介します。

屋根材の割れやズレ

漆喰(しっくい)が剥がれている

サビが目立つ

コケの付着や色あせ

屋根材の浮きや反り

コーティングの剥がれ

## スレート屋根



### 特徴

新築住宅でもっとも普及しているのが「人造スレート(セメント系)」(「天然スレート」は産出量も少なく高価なので、ほとんど見かけない)。瓦に比べると軽量で、耐震性も高い。安価で種類も豊富なので人気が高い。

### 劣化していくと…

薄いので割れやすい。10年ほどで塗装も剥がれてしまう。割れたままにすると、雨漏りの原因になる。コケなどがでたら、再塗装が必要。

表面の剥がれ



## 金属屋根



### 特徴

以前は亜鉛メッキ鋼板のトタンが主流だったが、近年ではガルバリウム鋼板が多い。最大の理由は、錆びにくいこと。トタンに比べて4~6倍も防錆性が高い。

### 劣化していくと…

サビが発生する。サビが発生する前、5年おきくらいに塗装するのがおすすめ。



## 瓦屋根



### 特徴

＜粘土瓦＞  
粘土を使った焼きものの瓦。日本瓦として多く用いられる。

### 劣化していくと…

ほかの瓦に比べて屋根の重量が重い。耐震性などのチェックが必要。

瓦が割れて、  
ズしている

＜陶器瓦＞  
粘土瓦を焼き上げる前に釉薬(ゆうやく)をかけて色をつけた瓦。水が浸透しにくく、耐久性に優れている。

釉薬にひびが入ると、そこからひび割れが拡大する。



屋根はチェックしにくい場所なので「思っていた以上に屋根の劣化が進んでいた」ということが少なくありません。定期的な点検によって、雨漏りは雨漏り修理工事、塗装の色落ちは屋根塗装修理工事、屋根の破損は屋根修理工事で十分に間に合うこともあります。この10年、一度もチェックしたことがない場合は、当店にご相談ください。

お気軽に  
お問い合わせください。

お電話 093-761-4344

北九州市若松区浜町1丁目10-2

株式会社 トンテック

ホームページ [とんてく](#) で検索